2019年3月地域ニュース

平和大橋の歩道橋、21日開通 2019/3/1

広島市が中区の平和大橋北隣に建設中の歩道橋が２１日、開通する。

旧市民球場跡地の活用へ着手 2019/3/1

広島市は２０１９年度、旧市民球場跡地（中区）の具体的な活用に向けた計画づくりに着手する。市中心部へのサッカースタジアム建設の最終候補地が中央公園自由・芝生広場に決まり、球場跡地が候補地でなくなったのを受けた。

広島市がキューバのホストタウン 2019/3/1

２０２０年の東京五輪・パラリンピックを巡り、政府は２８日、広島市をキューバのホストタウンとして登録した。

広島市の徘徊対策、利用進まず 2019/3/2

広島市内に住む高齢者を対象に、認知症による徘徊（はいかい）行動をとった際にＱＲコードを通じて身元確認につなげる市事業の利用が、低迷している。高齢者がＱＲコードのシールを身に着け、発見者がスマートフォンなどで読み込むと家族にメールで連絡される仕組み。

可部線の延伸２駅で乗車人数増 2019/3/2

ＪＲ西日本広島支社は１日、４日に開業２周年を迎える可部線の電化延伸区間（広島市安佐北区、１・６キロ）の２駅の利用状況を明らかにした。両駅とも前年同期より増加。

原爆ドーム保存工事の着工に遅れ 2019/3/3

劣化が進む世界遺産の原爆ドーム（広島市中区）の保存工事について、２月の入札が不調となった影響で、２０１８年度に予定していた着工が１９年度以降にずれ込むことが２日、分かった。市は要件の変更を検討し、入札をやり直す。

紙屋町・八丁堀でビル建設続々 2019/3/4

広島市の中心街、中区紙屋町・八丁堀地区でビルの建設ラッシュが起きている。半径４００メートルの範囲に、検討段階を含めてオフィスやマンション、ホテルなど少なくとも１０事業が集中。

まるでオオサンショウウオの親子 2019/3/4

湯来特産品市場館（広島市佐伯区湯来町）で販売されているオオサンショウウオの形をしたこんにゃくに大サイズの商品が加わった。１年余り前に発売し「きもかわいい」と話題を集めた従来品の４倍の重さ。

住民が災害時協力マップ作製 2019/3/4

広島市南区段原南地区の防犯に取り組む住民グループ「ボランティア以心伝心」が、災害時に被災者の一時的な受け入れや物資提供で協力する店や施設のマップを作った。

豪雨被災者支援　市民４割が重視 2019/3/5

統一地方選としてある広島市長選（３月２４日告示、４月７日投開票）を前に、中国新聞が市政課題について尋ねた市民１００人への街頭アンケートで、市政課題のうち西日本豪雨災害からの復興や防災施策では、被災者支援を求める意見が最も多かった。

引きこもりの人支援へ新拠点 2019/3/5

引きこもりの人たちの自立を支援するグループが、社会と関わるための拠点となるビーズショップを広島市中区の商業ビル「サンモール」の５階に開いた。

八木の拠点避難所、広島市が変更 2019/3/10

広島市は、２０１４年の広島土砂災害で被災した安佐南区八木学区の拠点的な指定緊急避難場所を４月以降、現在の八木小（八木９丁目）から城山北中（同５丁目）に移すことを決めた。

農業の困り事　兼業農家らが解決 2019/3/11

地域の農業の課題解決に向け、昨年夏に広島市安佐南区伴・大塚地区の兼業農家たちで結成した「アグリ　アシストとも」が、地域の田園風景を守る活動を本格的に始めた。

人口減対策の目標達成は困難 2019/3/12

国の「地方創生」を受けて自治体がつくった地方版総合戦略を巡り、中国地方５県のうち広島、山口、岡山、鳥取の４県で、人口減少対策の主な数値目標の達成にめどが立っていないことが１１日、中国新聞の調べで分かった。

そごう広島店が外国人案内所認定 2019/3/15

そごう広島店（広島市中区）が、日本政府観光局（ＪＮＴＯ）が選ぶ外国人観光案内所に認定された。英語を話せるスタッフが常駐し、地域を案内できる「カテゴリー２」と評価された。

広電新型車両の運行スタート 2019/3/15

広島電鉄（広島市中区）は１４日、６年ぶりの新型車両「グリーンムーバーエイペックス」の運行を始めた。

ＪＲ広島駅の新ビル25年春開業へ 2019/3/16

ＪＲ西日本広島支社は１５日、広島駅ビル（広島市南区）を地上２０階、地下１階に建て替え、２０２５年春に開業すると発表した。商業施設やホテル、シネコン（複合映画館）が入る。

二葉山トンネル｢不適切価格交渉｣ 2019/3/17

広島高速５号二葉山トンネル（広島市東区）の事業費が膨らむ見通しとなった問題で、工事を受注した共同企業体（ＪＶ）が当初、事業費を約３００億円と見積もっていたことが１６日、分かった。事業主体の広島高速道路公社（東区）は、協議を踏まえてＪＶが修正した約２００億円で契約しており、第三者委員会委員長の二国則昭弁護士は「不適切な価格交渉があった」との認識を示した。

頼山陽史跡資料館に英語説明板 2019/3/17

広島にゆかりのある江戸時代後期の儒学者、頼山陽の関連資料を収める頼山陽史跡資料館（広島市中区袋町）で、常設展の概要を英語で解説した説明板が初めて設置された。

安佐准看護学院を移転　22年春 2019/3/19

安佐医師会（広島市安佐南区八木）は２０２２年春に、同区祇園で運営している安佐准看護学院を現在の市立安佐市民病院北館２階（安佐北区可部南）に移すと決めた。

トンネル問題、公社側が増額打診 2019/3/19

広島高速５号二葉山トンネル（広島市東区、１・８キロ）の事業費が増える見通しとなった問題で、契約後に事業費を増額する手法を持ち掛けたのが事業主体の広島高速道路公社（東区）だったことが１８日、分かった。公社が設けた第三者委員会が「不適切な対応」と断定した公社と共同企業体（ＪＶ）の話し合いの中核部分に、公社が主体的に関わっていた。

マツダ、国内生産101万台へ 2019/3/20

マツダの２０１８年度の国内生産が１０１万２千台と、０７年度以来１１年ぶりに１００万台を突破する見通しになった。

再びホタルの瀬野川に　幼虫放流 2019/3/22

広島市安芸区の住民たちでつくる「瀬野川ホタルの会」が、瀬野川流域の用水路などでホタルを根付かせる活動に励んでいる。瀬野川の餌場は昨年７月の西日本豪雨で流され、ホタルが戻るまでに数年はかかるとみられる。

平和大橋の歩道橋開通　欄干復元 2019/3/22

広島市が中区の平和大橋北側で建設を進めてきた歩行者と自転車専用の歩道橋が２１日、開通した。隣接する平和大橋は、欄干の表面を６７年前の建設当時に近いコンクリート打ち放しの質感に「復元」した。

崇徳高20年春から一部共学化 2019/3/23

広島市西区の男子校、崇徳高は２０２０年４月、普通科の特別進学コースで女子生徒の受け入れを始める。２１年４月には併設の中学校も含め、全面的に男女共学にする。

老舗料亭「う越久」３月末で閉店 2019/3/27

広島市西区東観音町の天満川沿いで７０年余り続いてきた老舗料亭「う越久（おきゅう）」が今月末、のれんを下ろす。